

TPC を休止状態でシャットダウンする設定について

TPC は、従来は WINDOWS の規定のシャットダウン方法にて電源を切断していた。

しかし、教員や子どもたちから「TPC が起動するまでにかかり時間がかかる。」との指摘を受けることが多くあったために、起動時間を実測してみたところ、規定のシャットダウンを行った場合、次回の起動までに約2分程度の時間がかかることが分かった。授業を円滑に進めるうえでは、この時間もかなり長く感じてしまうということなので、もっと短縮する方法として、「休止状態」でシャットダウンを行うことを試してみることにした。

その結果、休止状態でのシャットダウンを行えば、次回の起動時間が平均 35 秒で済む。という検証結果を得ることができた。これにより大幅な起動時間の短縮となり、それほどストレスを感じることなく、TPC を授業で利用することができると思われた。

以上の結果を学校や京都市教育委員会、導入業者に相談したところ、TPC に設定を追加する許可が得られたので、休止状態でシャットダウンする設定を導入し、教員や児童生徒に使ってもらうことで、使用感の違いの有無を実証研究することにした。

なお、スリープ状態でシャットダウンを行った場合、電源再投入後、約 15 秒ほどで起動可能であるが、待機電力を消費するために、今回は採用を見合わせた。

【設定内容】

1. TPC 全台のデスクトップに休止状態でシャットダウンを実行できるショートカットを置く。ショートカットのリンク先は以下に設定することで実行すると休止状態となる。

C:\¥Windows¥System32¥rundll32.exe PowrProf.dll,SetSuspendState

ショートカットの名前を小学校低学年でもわかるように平仮名で設定した。



2. 設置した休止状態のショートカットから電源を切るように周知し、運用開始。
3. 運用変更を伝えるプリントを作成し、周知説明に役立てる。